

調査研究委員会レポート

◆調査研究委員会 委員の公募◆

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】		インターネットが鉄道に与える影響に関する 調査専門委員会(D 部門) 【交通・電気鉄道技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 16 年 12 月～平成 18 年 11 月	インターネットは、人々の生活や労働の様式を根本的に変えるといわれ、大きなビジネスチャンスや、ビジネスの危機が想定されている。鉄道でも利用が始まっているが、情報提供手段として定着し始めたところである。鉄道事業者、通信事業者、製品メーカー、コンテンツプロバイダー等の視点から、鉄道に与える影響を体系的に調査し、鉄道事業に与える可能性、問題点を整理する。
委員長名 (所属)		荻野 隆彦 (鉄道総研)	
委員会開催頻度		年 6 回	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	荻野 隆彦 (財) 鉄道総合技術研究所	
	電話	042-573-7309	
	FAX	042-573-7305	
	E-mail アドレス	ogino@rtri.or.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など		セキュリティ技術、モバイル、無線 LAN 技術 を含むインターネット関連技術の実経験のある方 コンテンツビジネス、ISP 関連業務 経験のある方	
応募締切		平成 17 年 7 月末日	

編集後記

例年であれば寒さの厳しい季節なのですが、今年は暖冬ようです。昨年の夏は東京で観測史上最高の 39.5℃を記録、真夏日も 70 日を数えるなど記録的な猛暑でした。12 月にも 25℃以上の夏日を記録したことも記憶に新しいと思います。一方で台風が数多く日本を襲い激甚な被害をもたらしました。世界各地でも洪水、干ばつ、熱波、ハリケーンなどの異常気象が観測されており、地球規模での自然環境に変化が現れていると感じざるを得ません。この地球で生活し、地球の恵みを得て生活している我々人類に、危機が迫っているのかもしれない。昨年 11 月にロシアが批准を決定した

ことにより、京都議定書がようやく発効することになりました。環境保全のための国際的な取組みが一段と加速されることが期待されます。開発途上国を含めた、経済発展と環境保全のバランスが難しい課題になることでしょう。技術的には、エネルギー消費や温暖化ガスの発生を抑える高効率機器の開発をさらに進めることは当然ですが、人類の今後の発展を許すのであれば、エネルギーの発生・利用方法を根本的に転換する技術革新が必要になってきます。私たち電気屋に期待される部分も大きいものと考えます。最後に、本号の編修に際してご協力をいただいた方々に感謝いたします。

エディタ 伊君 高志 (日立製作所)